

みなさまの大きな後押しで知事に就任して以来、県民主役・徹底現場主義・市町協働を掲げて、全力で県政の推進に取り組んでおります。温かく力強いご支援、ご協力に心から感謝申し上げます。



○若者が住みたくなるふくい

フルマラソン「ふくい桜マラソン」の開催やまちなか文化イベントの拡大等を通じ、県民も訪れる人もワクワク楽しめる文化・スポーツの振興を加速します。

結婚支援については、AIを活用したマッチングや「ふく恋」による総合的な婚活サポートを実施していきます。

子育て支援については、これまでの子だくさんプロジェクトをさらに進め、ふく育応援団創設や第2子保育料無償化

の対象拡大、雨天遊び場の全県展開、パトイレ整備など、子育てが楽しい！と思える施策を展開します。日本一幸福な子育て県「ふく育県」であることを宣言し、ブランドとして全国に発信します。

女性がイキイキと働く企業は、様々なニーズに対応して業績も上がるといわれます。女性活躍推進企業の登録や研修プログラム、大学との連携等により、女性管理職の登用、男性育休、共家事の推進など、若者や女性が働きやすい環境づくりを進めます。



○県境フロンティア・WAKASAリフレッシュエリア

高速交通網の進展で大きな成長が見込める「県境フロンティア」が特に奥越と嶺南地域です。奥越地域は、中部縦貫道県内開通により、中京からのインバウンドや自動車産業のサプライチェーン立地等の可能性が広がります。

嶺南地域においては、関西中京から最も近い日本海側港湾である敦賀港の機能強化を進めます。新幹線が繋がれば小浜から京都までわずか19分になります。三方五湖周辺整備や里山里海湖の自然や食を磨き上げ、関西の新たな

生活圏「WAKASAリフレッシュエリア」としてライフスタイル先進地を提案していきます。

原子力は、安全を最優先に、将来の規模やそこに至る道筋を明らかにするよう引き続き国に求めていきます。立地地域の振興については、嶺南Eコースト計画により、スマートエリアの形成、原子力リサイクルビジネスの推進、原子力関連の研究開発・人材育成、企業誘致等を進めます。また、国が主体となって立地地域の将来像を考える共創会議において、全国のモデルケースとなるよう、産業の複線化・新産業の創出に資するスケールの大きな取組みを国に求めてまいります。

東京五輪、本県を中心に開催したインターハイなど、コロナ禍の中でも、みなさんの努力と工夫で、夢は現実となり、希望は明日へつなげられることが示されました。改めて、ふくいをより良くするために「一緒に」がんばりたいという思いを強くした次第です。

明るく元気に前向きに、長期ビジョンの実現に向け、まい進してまいります。みなさまには、引き続きご支援、ご指導を賜りますよう心からお願い申し上げます。



杉本たつじ



○新型コロナ対策

県民、事業者のみなさまの感染防止対策へのご協力に厚くお礼申し上げます。

医療関係者をはじめ議会、市町、経済界などと連携し、「チームふくい」で先手先手の対応を行っており、医療従事者への手当金や入院コーディネートセンター設置、県民マスク券の配布、臨時医療施設の設置など、現場の声をもとにした全国初の取組みは高い評価をいただきました。

令和4年1月末からは、地域の医療機関や薬局と連携し、オンライン問診や薬配送を組み合わせ、自宅でも安心して経過観察を行う新たな治療体制を進めており、今後も早期発見、早期治療の「福井モデル」を進化させていきます。積極的疫学調査に基づくエビデンスから、感染場面の9割以上はマスクなしの会話であり、スーパーコンピューター富岳でも会話時のマスク着用の有効性が実証されています。「おはなしはマスク」およびワクチン接種へのご理解ご協力をお願いします。



くらし・経済活動との両立も重要です。GOTOイートやふくいdeお得キャンペーン、デジタルバウチャー「ふく割」などの消費喚起策に加え、売上減少に伴う県独自の給付金や制度融資など、国の制度に上乗せして事業者のみなさまを下支えしてまいりました。感染状況に応じ、近隣県との観光連携やDX等を活用した新たな投資への支援など、前向きな施策にも取り組んでいきます。

ホームページ <https://t-sugimoto.jp>

杉本たつじ後援会

お知り合いにご紹介ください
どうぞお気軽にお立ち寄りを！



TEL(0776)50-6140 FAX(0776)50-6141

〒918-8239 福井市成和1丁目309番地

